

電子版センターだより



Gunma Prefectural Education Center

群馬県総合教育センター - No.27 -

令和3年2月26日(金)配信

< 掲載内容 >

	頁
1 令和3年度研修講座の変更点と令和2年度教育研修員研修研究成果について	1
2 ぐんま教育フェスタの報告	3
3 第18回ぐんま教育賞 入賞者の紹介	5
4 教育の情報化推進に向けて	7
5 特別支援教育センター・研修サイトの紹介	8
6 「保育アドバイザー派遣」について	9
7 自立支援アドバイザーの取組	10
8 総合教育センターへ来所される方へ	11

* 編集後記 *

令和3年度研修講座の変更点と 令和2年度教育研修員研修研究成果について

当センターでは、「第3期群馬県教育振興基本計画」や「群馬県教員育成指標」を踏まえて教職員の研修を体系化した「ぐんま教職員ステージアップシステム」に基づき、教職員の資質向上を目指し、研修を実施しています。令和3年度は、GIGAスクール構想の実現に向けた教職員の指導力向上、国や県の動向や今日的な教育課題に対応した研修の充実を図るため、主に次のような変更等を行います。

< 研修講座の主な変更点 >

1 基幹研修

(1) 対象年次の変更

研修名	変更
小・中学校6年目経験者研修 特別支援学校6年目経験者研修 養護教員6年目経験者研修	令和3年度から「6年目経験者研修」として再開します。 「5年目経験者研修」から移行します。

(2) 令和2年度新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止した研修への対応

研修名	変更等
県立学校実習教員6年目経験者研修	令和2年度の受講対象者は、令和3年度の受講対象者と合同で実施します。
中堅教諭等資質向上研修	令和3年度から受講対象を12年目に変更します。 令和2年度の受講対象者は、令和3年度に本研修を受講します。 幼稚園等の教員は10～13年目を受講対象とします（変更はありません）。 学校栄養職員は11、12年目とし、令和3年度以降は隔年で実施します。

(3) ICT活用指導力向上に関する研修内容の充実

- ・経験者研修において、教科指導に関する内容を取り扱う際に、「授業中にICTを活用して指導する能力」「児童生徒のICT活用を指導する能力」等の内容の充実を図ります。

(4) 新型コロナウイルス感染拡大防止対応等の危機管理に関する研修の拡充

- ・経験者研修において、系統的に危機管理の内容の充実を図ります。

2 指定研修

(1) 令和2年度新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止した新任者研修への対応

- ・令和2年度の受講対象者は、希望があれば下記の令和3年度の研修を受講することができます。

【合同で受講可能】

研修名	対応等
新任幼稚園等園長研修	令和3年度受講者と合同で受講可能です。
新任幼稚園等副園長・教頭研修	
新任生徒指導主事研修	
新任高校特別支援教育コーディネーター研修	
特別支援学校新任者研修	
通級指導教室新任者研修	

【同様の内容を扱う希望研修で受講可能】

研修名	対応等
新任教務主任研修	希望研修「教務主任研修講座」を受講できます。
新任進路指導主事研修	希望研修「進路指導主事研修講座」を受講できます。
新任学年主任研修	希望研修「学年主任研修講座」を受講できます。
特別支援学級新任者研修	希望研修「特別支援学級基本研修講座」を受講できます。

(2) 統合する研修講座

- ・指定研修「高校英語科教員指導力向上研修」は、希望研修「英語科授業づくり研修講座」と統合し、新たに希望研修「高校英語科研修講座」として実施します。

3 希望研修

I C T活用指導力向上に関する研修内容の充実

- ・教科等に関わる研修講座において、「授業中にI C Tを活用して指導する能力」「児童生徒のI C T活用を指導する能力」等の内容の充実を図ります。
- ・「I C T活用指導力向上研修講座」に「情報モラル研修講座」を統合し、1人1台端末に応じた実践例や端末を活用する際の情報モラルなどの内容を取り入れて充実を図ります。



研修の様子（令和2年度）

4 その他

受講形態の特徴を生かした多様な研修機会の提供

- ・センター研修（集合研修）と所属でのオンライン研修を組み合わせたハイブリッド型研修を推進します。

詳細は、当センター発行「令和3年度研修講座案内」及びW e bページをご覧ください。

（研修講座案内発行及びW e bページ掲載は、3月中旬を予定しています。）

<令和2年度教育研修員研修研究成果について>

令和2年度教育研修員研修（長期研修・長期社会体験研修・特別研修）の研究成果を当センターW e bページに掲載します（3月下旬予定）。研修員が今日的な教育課題の解決に向け努力してきた1年間の成果がぎっしりと詰まった報告書や、日頃の授業や学級経営に生かせる資料等を掲載します。是非ご覧ください。



当センターW e bページのトップページから

「教育研修員研修」ボタンをクリック

詳しくはW e bページをご覧ください。【<http://www.nc.center.gsn.ed.jp/>】

ぐんま教育フェスタの報告

令和3年2月6日(土)～12日(金)、学校関係者を対象に「ぐんま教育フェスタ」をオンラインで開催しました。オンライン開催に伴い、内容を「教育研修員研究発表」及び「ぐんま教育賞表彰式」とし、総合教育センターのWebサイトから視聴できるようにしました。

長期研修員については、発表動画と概要版、長期社会体験研修員については、発表動画とリーフレット、特別研修員については、概要版を掲載し、研究についての発表を行いました。また、ぐんま教育賞表彰式の様子を動画で掲載しました。

アンケートに記された内容と長期研修員・長期社会体験研修員の発表動画を紹介します。

令和2年度 ぐんま教育フェスタ

[オンライン ぐんま教育フェスタ 会場はこちら](#)

ブラウザはGoogle ChromeもしくはMicrosoft Edgeを推奨します。

内容【教育研修員研究発表】
【ぐんま教育賞表彰式】

令和2年度
ぐんま教育フェスタ

視聴期間
令和3年 2月6日(土)～12日(金)
オンライン開催!

～アンケートより～

- ・学習したことを日常生活との関わりで捉え直す場面でのプログラミングの体験が参考になった。
- ・1 on 1 ミーティングに対する理解が深まった。私も学校で提案し、取り入れていきたい。
- ・今回作成された「ぐんまのぐんぐんガイド」を活用し、外国人児童生徒の笑顔を増やしていきたい。
- ・各校で指導と評価の一体化を図るための研修を実施する上で、非常に有意義な研究だと感じた。

○長期研修員の研究発表動画

Ⅲ 授業実践例 第3学年「電気の通り道」（「まとめる」過程）

プログラミングの体験場面

プログラミングの体験用プログラム

プログラミングの体験用プレゼンテーション資料

1 記号と動作の関係を理解する。

長期研修員
松井 繁典

情報発信基地
群馬県総合教育センター

17:18 / 26:22

○長期社会体験研修員の研究発表動画

3. キャリア教育実践について

企業の業務で学んだ1on1ミーティングの「傾聴」や「質問」のスキルを活用して、それぞれの考えたことを語り合って深めました。

追究②

長期社会体験研修員
山中 英史

情報発信基地
群馬県総合教育センター

18:41 / 24:27

今年度はコロナ禍の中、オンラインでの開催となりましたが、教育研修員の研究発表として、これからの教育に必要な情報を得られるような発表を目指しました。1115名のWebサイトへのアクセスがあり、本県の教育の在り方や日々の授業改善について考えるよい機会となりました。今後も本県の教育について、魅力のある情報の発信を目指していきます。

第18回ぐんま教育賞 入賞者の紹介

本年度は「杉の子賞」30編の中から、最優秀賞1編及び優秀賞3編を決定しました。最優秀作品の概要と優秀作品3編について紹介します。

最優秀賞

高大・地域連携の6次産業化活動による教育プログラムの実践

森田 哲夫（前橋工科大学）

新井 健司（県立藤岡北高等学校）

下田 勇人（県立勢多農林高等学校）

西尾 敏和（県立高崎工業高等学校）

塚田 伸也（前橋工科大学）

湯沢 昭（前橋工科大学）

概要

前橋市の遊休農地や公園を活用し、高校生、大学生、農家、地域企業らが協働でコメ作り、加工、おむすび販売までの農業体験活動（6次産業化）を実施してきた。

調査・研究の結果、この活動に参加することにより、高校生の学習意欲、将来の仕事や進学への意欲が高まることを検証し、地域コミュニティ形成に寄与することが明らかになった。この活動を5年間実践することにより、高大・地域貢献による教育プログラムを構築できた。

表彰式の様子



優秀賞

自分の考えをより深めたり広めたりする児童の育成

- 交流後のプラスワン活動の工夫を通して -

大澤 久美子（みどり市立大間々東小学校）



児童生徒の考えや意見を表出させるための指導の手立て

- 授業構想シートとハートメーターを通して -

杉本 絵理子（千代田町立千代田中学校）



（代理出席；校長 澁澤幸一 様）

地域農業に貢献する態度を育む教育活動の実践

～時代のニーズに対応した特色ある学習を通して～

山口 愉隆（県立吾妻中央高等学校）



入賞作品の詳細は、当センターWebページにて主題及び作品全文を公開します。ご覧ください。

【 ぐんま教育賞Webページ http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=183 】

教育の情報化推進に向けて

学習指導要領において、児童生徒の情報活用能力が学習の基盤となる資質・能力として位置付けられました。急速に情報化が進展する社会の中で、情報や情報手段を主体的に選択し活用していくために、児童生徒の情報活用能力の育成と教員のICT活用指導力の向上が求められています。

当センターでは、先生方のICT活用指導力の向上のため、次のような研修講座を企画しています。

ICT活用指導力向上研修講座

ICT活用について、先生方のスキルや活用方法に応じて、来年度は、5コースを実施します。初心者の方も安心して参加できる研修講座になっています。

主な内容	
< 1人1台端末を活用した授業実践例（小、中、高、特）> 1人1台端末を活用した授業について、県内学校の実践事例の発表を通して学びます。	
< 1人1台端末時代の情報モラル> 児童生徒が1人1台端末を活用する上で身に付けさせたい情報モラルについて、講義を通して学びます。	
< 子供がインターネットを利用する際の留意事項> 児童生徒がネットワークを利用する際の適切なコミュニケーションの取り方について、講義や実習を通して学びます。	
< 表計算ソフトの基本的な関数の利用> 表計算ソフトの基本的な関数の利用方法について、講義や実習を通して学びます。	
< 文書処理ソフトと表計算ソフトの基本的な機能の利用> 文書処理ソフトと表計算ソフトを組み合わせた利用方法について、講義や実習を通して学びます。	

共通教科情報研修講座

高等学校における共通教科情報の指導力向上を図り、情報科で身に付けるべき資質・能力の育成を目的とした授業づくりに必要な知識・技能を習得します。

主な内容	
< JavaScriptで学ぶプログラミングの基礎> プログラミング教育の効果的な指導方法について学びます。	
< モデル化とシミュレーション入門> モデルとシミュレーションについて理解し、効果的な指導の在り方について演習を通して学びます。	
< Photoshopで学ぶ情報デザインの基礎> 情報デザインの基礎について学び、表現する技能を身に付けます。	
< コミュニケーションと情報デザイン> 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や指導方法を身に付けます。	

日程等の詳細は、3月中旬に配布する講座案内及び当センターのWebページをご覧ください。

特別支援教育センター・研修サイトの紹介

特別支援教育センターでは、特別支援教育の充実に向けて指導方法等に関する情報発信や機関連携を行っております。今回は、「教員のための研修サイトの紹介」についてお伝えします。

「教員のための研修サイトの紹介」について

「教員のための研修サイトの紹介」では、先生方が研修で活用できる研修資料・講義動画等を配信している機関等のリンク先を紹介しております。

<紹介しているリンク先>

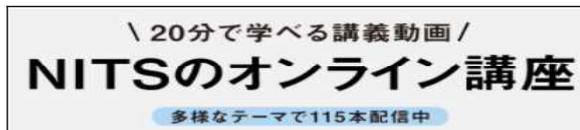
- ・国立特別支援教育総合研究所
- ・国立教育政策研究所
- ・独立行政法人教職員支援機構
- ・国立障害者リハビリテーションセンター内、発達障害情報・支援センター
- ・文科省（発達障害のある子供たちのためのICT活用ハンドブック）

内容の例

- ・「国立特別支援教育総合研究所」の一部



- ・「独立行政法人教職員支援機構」の一部



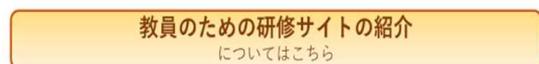
障害種に応じた指導方法等についての講義動画や教材作成の具体的な内容等が分かりやすく紹介されています。特別支援教育の経験年数を問わず活用できる内容になっています。

<「教員のための研修サイト」閲覧方法>

総合教育センターwebトップページを開き、「特別支援教育」をクリックする。



情報発信の部分にある「教員のための研修サイトの紹介」をクリックする。



ID及びパスワードを入力する。

ID...gunmatokushi パスワード...tsks18

閲覧したいリンク先をクリックする。

- 先生方が、研修で活用できる研修資料・講義動画等を配信している機関等のリンク先です。参考にしてください。
- ・ [国立特別支援教育総合研究所](#)
 - ・ [国立教育政策研究所](#)
 - ・ [独立行政法人教職員支援機構](#)
 - ・ [国立障害者リハビリテーションセンター内、発達障害情報・支援センター](#)
 - ・ [文科省（発達障害のある子供たちのためのICT活用ハンドブック）](#)

是非、ご活用ください！

「保育アドバイザー派遣」について



幼児教育センターでは、幼児期の教育や家庭教育の充実を目指し、保育所、認定こども園、幼稚園、学校、公民館等で行う講演会や研修会、保護者会に、経験・知識ともに豊富な保育や教育の専門家である「保育アドバイザー」を講師として派遣しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の関係で、保護者対象の講演会や親子行事、園内・校内研修等が中止になった園所・学校が多かったと思います。そのため、今年度の保育アドバイザーの依頼数は、やや少なめでしたが、実施した園所・学校等から「とても有意義だった」「来年も派遣してほしい」等のお声を多数いただいています。

是非、来年度の活用をご検討ください。皆様からのお申し込みをお待ちしています。

これまでの実績の一部を掲載します。

- 園内研修・校内研修 ○講演会・各種研修会
- 保護者会・親子行事 ○子育ての支援者の研修 など



原則、年間1回は無料で派遣できます。

1 令和2年度の保育アドバイザー派遣の主なテーマ

保育所、認定こども園、幼稚園、子育て支援団体

保護者・親子向け	・親子のふれあい遊び	・心の発達とその問題
教職員向け		
保護者支援 ・なぜ、保護者支援が必要か ・学習室での親子への関わり方 幼小連携・接続 ・子供の育ちをつなげる ～ 幼児教育施設と小学校との連携～ 実技 ・リズム運動で育てたい子供の力 ・保育に活用できる集団遊び、リズム遊び	特別支援 ・幼児通級に通う子供への支援 ・気になる幼児と集団との関わり ・気になる子供の理解と援助 （保育参観と保育についての助言） 幼児教育全般 ・幼児の見取りと発達の理解 ・遊びの充実を目指して ～ 幼児の理解と保育の実際～	

学校

保護者・親子向け	
・就学に向けての子育て～早く、小学校に行きたいね！～ ・就学に向けて、親としての心の準備	・就学までに付けておきたい力 ・小学校生活のスタートに当たって

2 保育アドバイザー派遣の申込みについて

申込方法

相談書提出：希望の日時や内容、講師などを電話で相談、又は相談書を提出

派遣依頼書提出：講師決定後、派遣依頼書を提出

実施報告書提出：派遣終了後、実施報告書を1週間以内に提出

詳しくは、Webページをご覧ください。【 http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=74 】

自立支援アドバイザーの取組

当センターでは、「いじめ対策・不登校支援等推進事業（文部科学省）」として、県教育委員会義務教育課や各教育事務所、市町村教育委員会と連携しながら県内の不登校対策に取り組んでいます。

今年度は、当センターに配置される「派遣型自立支援アドバイザー（以下、自立支援アドバイザー）」のみとなりましたが、適応指導教室や学校のニーズに応じて、児童生徒の多様な課題の解決に向けた支援を行ってきました。

当センターに配置された「自立支援アドバイザー」は、県内各市町村教育委員会等から派遣依頼があった場合に、適応指導教室や学校に訪問して支援を行っています。その活動状況について、紹介します。

自立支援アドバイザーの活動

当センターに配置された2名の自立支援アドバイザーは、公認心理師、社会福祉士の有資格者であり、福祉的な視点から適応指導教室が抱える様々な課題解決に向けた支援を行いました。業務内容については、以下のようなものがあります。

- ・ 適応指導教室に通室する児童生徒や保護者との面談
- ・ 適応指導教室等における対応困難な事案に対するの助言
- ・ ケース会議でのアセスメント
（様々な情報を基に総合的・多面的に判断し、見立てを行うこと）
- ・ 指導員、相談員の資質向上のための講義
- ・ 適応指導教室運営に関する情報提供
- ・ 子ども教育相談室における研修 等



＜適応指導教室での活動＞

通室する児童生徒の活動の様子を参観したり、活動と一緒に参加したりする中で、児童生徒の行動観察を行いました。その上で、指導員が抱える指導上の悩みや不安の解消に向けて、具体的な取組の提案を行うことで、よりよい支援につなげることができました。また、通室する児童生徒の保護者との面談では、保護者の抱えている困り感に寄り添いながら、児童生徒の現状を確認し、保護者の意向を聞き取り、今後の対応策を一緒に考えたりアドバイスを言ったりしました。こうした取組を継続することにより、子供が自ら一歩踏み出し、進級・進学に向かうことができるようになっていきます。

今後も、適応指導教室での支援や学校と適応指導教室の連携・支援を継続して行っていきます。



＜子ども教育相談室での活動＞

様々な事情や課題を抱える相談者に対応できるように相談員の資質向上のため、研修会を実施しました。相談者の抱える悩みをより詳細に理解する方法やコロナ禍での相談対応の在り方等、相談を受ける側として日々考えていることをテーマとしました。課題を解決したいという相談者のニーズを的確に捉えるための聴き方や不安や悩みを和らげるためには具体的に助言を行うということ、相談者の抱える悩みの本質を見取ることにより適した相談機関につなげていくこと等、研修会後からすぐ実践することができる具体的な対応策を学ぶことができました。子供たちやその保護者のための相談機関として、子ども教育相談室ができることを再確認し、今後の実践に生かせるものとなりました。

総合教育センター駐車場について

当センターへ車で来所される場合は、図のとおり建物東側にある正門から入り「受講者用駐車場」にとめてください。



* 編集後記 *

「電子版センターだより」第27号をお届けします。

過日、オンラインでの開催となった令和2年度ぐんま教育フェスタには、多くの皆様にアクセスしていただき、教育研修員の研究発表に対してご意見・ご感想をいただきました。誠にありがとうございました。

来年度、中学校では新学習指導要領の本格実施となります。また、GIGAスクール構想の実現に向けた準備、そして、新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応など、年度末も各学校・園ではご多忙のことと拝察します。当センターでも、皆様に安心して有意義な研修を受けていただくために、研修方法を工夫し、内容を充実させていきます。令和3年度もよろしくお願いいたします。

(文：K.H)